

認定こども園みそのうこばとの森

園児が五感を働かせ主体的に遊べる環境づくり ～地域の方と一緒に取り組んだ芝張りを通して～

保育環境づくりのポイント

「園庭に芝生があつたらいいな。」「寝転びたいな。」などの子どものつぶやきをヒントに、園庭の芝張りをすることにしました。芝生があると、芝の感触を感じ、空を見上げて雲の様子に気付き、草木の変化からなぜ変わってきたのかなど考える力を育むことができると考えました。さらに、芝生の上をごろごろと転がることで、楽しみながら運動して体力をつけることもできます。それだけでなく、幼児は芝を張り育てる経験をする中で、友だちと協力しながら自分たちで育てることにより、充実感ややり抜く力を育むこともできます。この視点から保育環境（園庭）の見直しを図りました。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかかわる力

取組み内容

園児は毎日園庭で自分のしたいことを楽しんで遊んでいます。でも、もっと五感を働かせたりもっと工夫したりして考えながら遊びを深めていけるようにするにはどうしたらいいか、保育環境の見直しを図りました。具体的には、まず保育教諭全員が、一人一人考え、クラスごとに発表した後意見交換をして、芝生を敷き詰めることに決定しました。次にどこまで敷き詰められるかを図面で表し、乳児用の小さな芝生の山も作ることにしました。業者さんに相談し、土壌づくりをした後、地域の方にも協力してもらいながら、園児一人一人が芝を張って保育環境づくりを進めました。乳児も、一緒に参加したり見学したりして、芝が根付くのを見守りました。

自分のしたい遊びに熱中する園児



①環境設定の話し合い～何を～



②芝生を張る計画～どこに～



③業者の方と広さの相談



⑦芝で敷き詰められる園庭



⑤自分たちで次々芝を張る園児



④芝張りの説明を聞く園児



＜今回の取組みを通して＞

園児が地域の方と一緒に取り組むことで、自分たちで作った芝生だという思いが強くなり、大切にしながら育てています。春になって芝の上で寝転んだり走り回ったり、五感を使って主体的に遊び込むことを楽しみにしています。 園長 神鳥 美智子